

## 健康寿命サポート住宅募集と健康増進プログラム実施について ～豊明団地における地域医療福祉拠点化の推進～

UR（独立行政法人都市再生機構）では、「多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まちづくり」を目指し、団地を中心として住み慣れた地域で最期まで住み続けることができる環境（Aging in Place）を実現するため、地方公共団体等と連携して地域医療福祉拠点化を推進しています。

取組の一つとして、高齢者の心身の弱化的視点に着目した改修による高齢者が団地内で住み続けやすくなる住宅の提供等を行うことで、健康寿命<sup>※1</sup>の延伸をサポートすることを目指した「健康寿命サポート住宅」を豊明団地にて募集することとしました。あわせて、「落語と体操」等の健康増進プログラムを松竹芸能と共同で実施することとしました。

### <健康寿命サポート住宅の付加機能>



当該豊明団地においては、昨年度より地域医療福祉拠点化に取り組んでおり、UR、豊明市及び藤田保健衛生大学の3者間で相互に包括協定を締結し、「ふじたまかど保健室」の団地内設置や同大学の学生及び教職員の団地内居住とあわせて、団地のコミュニティ活動に参加し世代間交流を図るなどの取組みを行っています。

※1 日常的に介護を必要としないで、自立した生活ができる期間を指します。

お問い合わせは下記へお願いします。

中部支社 住宅経営部 ストック再編事業チーム

（電話）052-968-3396

中部支社 総務部 総務チーム

（電話）052-968-3305

## 1 「健康寿命サポート住宅」の募集

健康寿命サポート住宅（以下、「健康住宅」）とは、移動等に伴う転倒の防止に配慮した住宅改修とあわせて、散歩したくなるような屋外空間や豊富な社会参画の機会等により外出しなくなる環境を備えたことを示すコンセプト名称です。

住宅改修にあたっては、高齢者が安全に住み続けられるために多様な住環境のニーズに応え、移動等に伴う転倒の防止に配慮することにより、ケガをしにくい、させない住宅とすることで、【①自立→②虚弱・要支援→③要介護】といった高齢者の心身状況の変化の段階において、段階の移行を遅らせることを目指します。

具体の仕様としては、ヒートショック対策（浴室暖房設備、暖房便座の設置）、モニター付きインターフォン及び玄関ホールに人感センサー照明等を設置しています。

当該住宅の募集は、平成27年10月30日（金）から先着順で2戸募集いたします。

また、あわせて健康増進プログラム（後述）を試行的に実施することとし、健康住宅の申込者には、当プログラムに優先して参加していただけるようにしました。

## 2 健康増進プログラムの取り組み

### （1）落語と体操

健康住宅の取り組みのPRの一環として行う健康増進プログラムは、笑いと運動で健康の増進を図ることを目的とし、松竹芸能株式会社と共同で以下の内容を実施します。

- ①落語：松竹芸能所属の上方落語家による思い切り笑いながら“健康に日常を送るヒント”を学べる落語を実施します。
- ②体操：元世界陸上メダリストの為末大氏と元オリンピックチームトレーナーの曾我武史氏が開発したロコモティブシンドローム<sup>※2</sup>予防のための“簡単に取り組むことができる体操”を実施します。
- ③茶話会：落語と体操の後は、落語家を中心に参加者同士のコミュニケーションを深める“茶話会”を実施します。

※2 運動器症候群。運動器（骨・筋肉・関節・神経）の障害により移動機能の低下をきたした状態。進行すると介護が必要になるリスクが高くなる。／公益社団法人日本整形外科学会による

### （2）ツールの配布及びPR

参加者が当プログラムを継続して実施できるように、以下のツールの配布、PRを予定しております。

- ①健康カレンダー：「落語と体操」で実施した体操のポイントや毎日の目標等を記載した「健康カレンダー」を配布。
- ②マニュアルDVD：健康カレンダーと併せ、体操のマニュアルとして配布。
- ③ユーチューブ配信：当プログラムの一般認知度向上を目的として実施映像を配信。

## 3 豊明団地における地域医療福祉拠点化の取り組み

詳細は別紙をご参照ください。

以 上

# ■ 豊明団地 <愛知県豊明市> ~地域とともに健康を作りたい~

## 団地概要

所在地：愛知県豊明市二村台五丁目1-1他

交通：名鉄名古屋本線「前後」駅バス10分、バス停下車徒歩1分

管理開始：昭和46年

戸数：2,127戸

住宅型式（専用床面積）：2DK~3DK（39㎡~51㎡）

月額家賃：37,200円~48,200円

共益費：2,000円/月

## ■ 位置図 ■



地図使用承認©昭文社第56G107号

## ■ 団地内配置図 ■



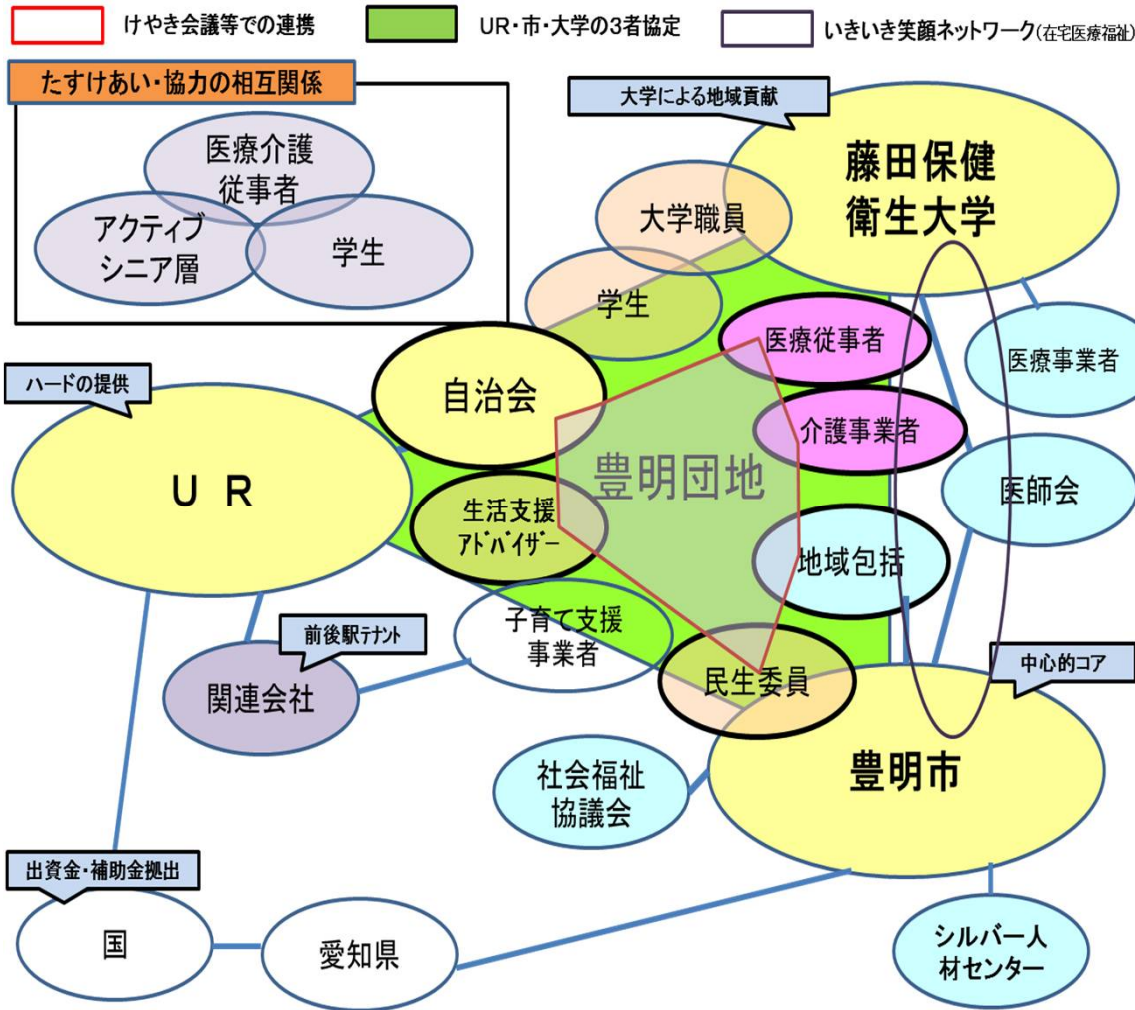
A：ふじたまちかど  
保健室

※掲載の内容は、平成27年7月1日時点の情報です。

# ■ 豊明団地 <愛知県豊明市> ~地域とともに健康を作りたい~

## 豊明団地を中心とした地域包括ケアネットワークの構築

### ■ 関係者の協力体制 ■



### ■ 取組概要 ■

#### ● 藤田保健衛生大学 ●

- ① 団地内に地域医療福祉事業の拠点施設（ふじたまちかど保健室）を運営
- ② 学生及び教職員の団地内居住推進と、団地内での自治会等コミュニティ活動への参加
- ③ 団地をフィールドとした地域医療介護人材の育成

#### ● UR都市機構 ●

- ① 拠点施設の受入れ（集会所棟・店舗の活用）
- ② 医療、福祉、団地コミュニティ活性化講座の開催支援（集会所の無償化等）
- ③ 学生及び教職員用住宅の提供
- ④ 訪問系サービス事業者のための駐車スペースの提供

#### ● 豊明市 ●

- ① 地域医療介護ネットワークの構築
- ② 地域ケア推進会議等の実施
- ③ 地域包括支援センター機能の導入
- ④ 病後児保育機能の導入

# ■ 豊明団地 <愛知県豊明市> ~地域とともに健康を作りたい~

## 取組内容(詳細)

※掲載の内容は、平成27年7月1日時点の情報です。

### ● A.ふじたまちかど保健室 ●

医療・福祉・介護等、乳幼児から高齢者までの無料相談。学生の在宅実習拠点としても活用。

### ● B.学生及び教職員の団地内居住とコミュニティ参加 ●

学生及び教職員が団地内に居住し、自治会主催の食事会や夏祭り等のイベントに参加し、世代間交流を図ります。

### ● C.けやきいきいきプロジェクト会議の開催 ●

市・大学・UR・自治会や関係者が集まり、団地での地域包括ケアの取組について、定期的に会議を行っています。



U29割住宅や改修住宅に学生が居住し、イベント等へも参加し世代間交流することで、高齢者問題について実体験しながら学習することができます。



自治会館や保健室で地域関係者が集まり、団地の課題や解決策を話し合っています。

体操教室、病気やお薬に関する講座なども開催し、気軽に立ち寄れる場所に。

## 関連URL

### ●ふじたまちかど保健室●

<http://www.fujita-hu.ac.jp/~chuukaku/8504/hokenshitsu/index.html>

### ●豊明団地●

[http://www.ur-net.go.jp/chubu/aichi\\_shibu/0520.html](http://www.ur-net.go.jp/chubu/aichi_shibu/0520.html)